

「八戸LNG(液化天然ガス)基地」の建設について ～北東北へ安定的・効率的にLNGを供給～

各位

当社(社長:渡 文明)は、北東北へ安定的かつ効率的にLNG(液化天然ガス)を供給することを目的に、当社の八戸油槽所跡地(2004年6月末閉鎖予定)に「八戸LNG基地」を建設することを計画しておりますので、お知らせいたします。

現在、ガス業界では、都市ガスの高カロリー化を積極的に推進しております。北東北においても都市ガス事業者の多くが2007年度以降に熱量変更を予定しており、今後、LNGの需要が大きく増えることが見込まれております。

当社は、この新規需要に対応するために、北東北へのLNGおよび天然ガスの供給拠点として、「八戸LNG基地」を建設し、2007年3月より八戸ガス(株)へパイプラインを利用した天然ガスの供給ならびに、その他の都市ガス事業者へタンクローリーを利用したLNG供給を行なっていく予定です。

また、当社では、東京ガス(株)袖ヶ浦基地からLNGを調達し、LNG内航船を利用して、「八戸LNG基地」へ輸送することを計画しております。

なお、「八戸LNG基地」建設実現に向けては、今後、関係各所との協議を行ないつつ、具体的な検討を進めてまいります。

当社では、グループの経営ビジョンを「たえず新しい発想で未来に挑戦し、人々から最も支持される総合エネルギー企業を目指す」と定めております。ガス事業においては、マレーシアやインドネシア等海外におけるLNGプロジェクトに参画し、国内ではガス販売事業を展開しております。また、現在、中国電力と合弁で「水島エルエヌジー」を設立し、中国地方の都市ガス事業者等へのLNG供給事業を進めており、今回の「八戸LNG基地」は、当社のLNG基地としては2番目となります。

当社では、今後もガス自由化の進展にあわせながら、ガス事業の拡大に取り組んでまいります。

記

1. 計画概要

- (1) 調達先 : 東京ガス株式会社 袖ヶ浦工場(千葉県袖ヶ浦市中袖)
- (2) 輸送方式 : 東京ガス袖ヶ浦工場からLNG内航船を用いて、「八戸LNG基地」へ輸送
- (3) LNG販売量 : 年間 約3万トン～6万トン
- (4) 主な販売先 : 北東北の都市ガス事業者
- (5) 供給開始時期: 2007年3月

2. 八戸基地概要

- (1) 建設場所 : 八戸市大字河原木字宇兵衛河原8番3号
- (2) 敷地面積 : 約12千m²
- (3) タンク容量 : 4,500KL(約2,100トン)
- (4) その他設備 : LNG内航船受入設備
天然ガス気化設備(2トン/H)
LNG出荷設備(3～5レーン)
- (5) スケジュール: 2005年7月頃着工、2007年2月頃竣工

以上

ご参考

新日本石油のガス事業の取り組みについて

1. 主要天然ガス開発プロジェクトの現状

●マレーシア(マレーシアLNGティガ・プロジェクト)

新日石開発(当社の石油開発部門子会社)、シェルおよびチャリガリ(ペトロナスの開発子会社)等がマレーシア・サラワク沖合ガス田で天然ガスを生産。チャリガリがガス田から輸出基地ピンツルまでのパイプラインを敷設・運営。パイプ

インで輸送される原料ガスをピンツルのLNGプラントで液化し、国内外の需要家へ販売。

- ◆上流部門 SK-10 鉱区 日石マレーシア石油開発 75%、チャリガリ 25%
SK-8 鉱区 シェル、日石サラワク石油開発 各37.5%、チャリガリ 25%
- ◆液化部門 マレーシアLNGティガ社(供給数量680万トン/年 供給開始時期:2003年3月~)
(ペトロナス60%、シェル15%、新日本石油・サラワク州政府 各10%、三菱商事 5%)
- ◆販売先 石油資源開発(02年度~)、東北電力(05年度~)、
ガス3社[東京ガス・東邦ガス・大阪ガス](04年度~)、東京電力(03年度)他

●インドネシア(タングLNGプロジェクト)

インドネシア東部・パプア州北西部のベラウ鉱区・ウィリアガール鉱区・ムツリ鉱区の3鉱区で、BPをオペレーターとして、開発作業中。3鉱区合計の確認・推定埋蔵量は18.3兆立方フィート、LNG生産700万トン/年の規模で2007年央の生産開始を目標としている。

- ◆上流部門 BP 37.2%、三菱商事 16.3%、CNOOC 17%、
新日本石油 12.2%、兼松 10%、LNGジャパン 7.3%

2. 国内のガス販売事業について

●水島製油所のLNG基地を利用したガス事業

水島製油所にLNG基地を建設し、中国電力(株)水島火力向けを中心としたガス供給事業を行うとともに、中国地方の都市ガス会社及び大口需要家へのガス販売事業を展開。

- ◆出資比率 基地会社:新日本石油 50%、中国電力 50%
販売会社:新日本石油 40%、中国電力 40% 他
- ◆設備概要 LNGタンク(16万KL×1基)
- ◆運用開始 2006年3月末目標
- ◆取組状況 2003年6月に、広島ガス、水島ガスとそれぞれ「天然ガス供給に関する意思覚書」を締結。
2006年7月を目途に供給を開始する予定。

●都市ガス大口供給の開始

2003年8月に大口ガス供給事業の認可を受け、当社は全国で13番目の大口ガス事業者となり、当社川崎事業所内で操業中の(株)ペットリバースに対し、都市ガス販売を開始。

- ◆販売数量 1,100万 m^3 /年
- ◆販売開始時期 2003年10月~
- ◆供給方法 当社川崎事業所の敷地境界で東京ガスから都市ガスの供給を受け、当社が新規に投資する導管を
経由しペットリバースに供給する。

●都市ガス事業者に対するLNG販売の開始

2003年10月より、都市ガス事業者である武蔵野瓦斯(株)にLNG販売を開始。

- ◆販売先 武蔵野瓦斯株式会社毛呂山事業所(埼玉県入間郡毛呂山町)
- ◆販売数量 250万 m^3 /年(2,000トン/年)
- ◆販売開始時期 2003年10月~
- ◆供給方法 タンクローリーにて同社毛呂山事業所に持ち届け

●その他(他社との提携によるガス小売事業)

「NexTエネルギー」(新日本石油 40%、新日本石油ガス 10%、帝国石油 50%)
「北陸エルネス」(新日本石油 10%、北陸電力 41%、中部電力 34% 他)